



青き楓

島高だより
平成25年3月号
(通巻第84号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想 湧水抄



「科学する心」は学問の基本

校長 北浦剛資

島高生の「S」は「Science」のS。品格には「科学的なものの見方」が伴う。

■3・14「課題研究発表会」

「1次元の線を切断すると0次元の点となる。2次元の平面を切断すると1次元の線となる。3次元の立体を切断すると2次元の平面になる。では、4次元がどんなものかよくわからないが、それを切断すると3次元の立体となるはずである」という仮説を立証するために、2次元さらに3次元における2点間の距離の公式を応用して4次元における2点間の距離の公式を予想し、それを使って4次元を切断して現れる立体を数式で表すと……。」これから先は私の理解を超えるので止めるが、先日の2年理数科・数学班の課題研究発表の一端である。他にも、地学班は「眉山崩壊における流れ山の分布」に関する調査と考察、物理班は地球ゴマに魅せられて取り組んだ「ジャイロ効果」の研究、植生班は地道なフィールドワークに裏打ちされた「垂木台地の植生調査」のまとめ、化学班はフルオレセイン指示薬に注目した「蛍光塗料の特性に関する考察」など、素朴な疑問や率直な興味から出発した、意欲的で魅力的な研究発表が展開された。

■「科学する心」とは

県内に5校しかない「理数科」が、本校に設置されてちょうど10年が過ぎた。本校では、大学や各種研究機関の専門的な講義を受講するサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)や、長崎総合科学大学や崇城大学を訪問して研究の最先端に触れる研修旅行、さらに上記課題研究の3つの柱を通して、科学的・数学的に考察し表現する態度を育て創造的な能力の向上を図っている。しかし、「科学する心」というのは理数科に限ったことではない。「発見」したときの驚き、「考察」するときの苦労、「成果」にたどり着いた喜びなどは、人文科学や芸術を含め、すべての学問に共通する感覚だと思う。そして、頭が柔軟で知的好奇心豊かな高校生にこそ身につけてもらいたい態度である



4月の主な行事予定

4日(木)	入学予定者オリエンテーション 登校自学(～5日 2・3年)	12日(金)	全校朝会、学級役員任命式(1・2年) 生徒評議員会・各種委員会
5日(金)	クラス発表・教室下足移動	13日(土)	スタディサポート(1年)
8日(月)	始業式・新転任式・入学式・PTA入会式	15日(月)	早朝補習開始(2・3年) 雲仙合宿(～18日 1年)
9日(火)	諸調査・学級役員選出 校内模試(3年)・校内実力(2年) 新入生テスト(1年)	17日(水)	内科検診
10日(水)	雲仙合宿オリエンテーション(1年) 容儀指導・地区別集会 夏服採寸(1年)	19日(金)	内科検診
11日(木)	自転車保険申込み(～12日) 理数科対面式	21日(日)	全国総文祭100日前イベント
		22日(月)	早朝補習開始(1年) 議案書検討・部活動生集会
		24日(水)	7限→月の7限 内科検診
		25日(木)	体力テスト・身体測定(1年)
		26日(金)	歓迎遠足(雨天時は歓迎会)
		30日(火)	レントゲン検査(1年・職員)



卒業証書授与式

2月28日(木)に同窓会入会式、3月1日(金)に第65回卒業証書授与式が行われました。県高校総体優勝旗4本、剣道部男子の玉竜旗優勝、レスリング部と剣道部の国体上位入賞など部活動で輝かし実績を残した65回生は、校是「文武両道」を貫き通し、真の島高生の姿を後輩たちに示してくれました。

高校生活での多くの思い出を胸に、普通科235名・理数科28名、計263名が本校を巣立ちました。これからそれぞれ別の道を歩むことになりますが、高校三年間の経験を生かし、「品格ある島高生」から「品格ある大人」へ大きく成長してくれることでしょう。みなさんの輝かしい未来に期待します。

入会式の様子



卒業生入場



卒業証書授与



校長式辞



在校生送辞



卒業生答辞



最後の校歌斉唱



卒業生退場

県表彰受賞者

平成24年度 長崎県教育委員会 優良卒業生徒 表彰

3年4組 本田 瑞貴

平成24年度 県スポーツ賞

団体 剣道部男子

個人 レスリング部：佐藤 聖翔
松坂 誠應



個人 剣道部男子：藤野 麗太
剣道部女子：山崎 瑠美
レスリング部：佐藤 聖翔

松坂 誠應
卒業生顕賞 弓道部：松田 紗季

平成24年度 長崎県高等学校 体育連盟 表彰

団体 剣道部男子

剣道部女子

レスリング部



部活動等実績

弓道部

平成24年度長崎県高等学校弓道一年生錬成大会

男子の部 第2位 島原高等学校 A 松本 正人

瀬川 統
本田 健



剣道部

平成24年度 第15回大霧島旗争奪高校剣道錬成大会

女子団体 優勝
男子団体 第3位

個人部門

第58回青少年読書感想文長崎県コンクール
自由読書の部 優秀賞 高柳 侑奈



理数科課題研究発表大会

理数科2年生 課題研究発表大会

理数科主任 細田 正俊

3月14日（木）に平成24年度理数科課題研究発表大会を実施しました。自分たちで設定した課題について、1年間研究を行った結果を発表しました。発表も工夫がありわかりやすく、興味深い発表ばかりでした。

【審査結果】

最優秀賞 化学班「フルオレセイン指示薬の検討～イチゴミルクで鉛発見！？～」

優秀賞 数学班「4次元の考察」

優秀賞 植生班「垂木台地の植生と、季節ごとの変化を調べる」

優良賞 地学班「眉山崩壊における流れ山の分布」

物理班「ジャイロ効果」



数学班「 $\frac{b}{a} \div \frac{d}{c} = \frac{b}{a} \times \frac{c}{d}$ 」

数学班「三角比の近似値」

生物班「淡水魚の浸透圧調節について」

※優良賞は発表順に記載

この結果をもとに、学校代表を2班を決定します。代表班は6月に長崎市で行われる長崎県理数科高等学校課題研究発表大会に出場します。そこで上位に入ると8月に鹿児島県で開催される第15回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会に出場します。ぜひ上位大会を目指してがんばってほしいと思います。

ジオパーク講演会

理科主任 松本優一

2月27日（水）、1学年全体を対象に「ジオパーク講演会」を実施しました。講師は理数科の地学講座でお馴染みの寺井邦久先生です。

プレートテクトニクス理論、震度とマグニチュード、東日本大震災の津波と潮位計のデータなど興味深い内容の説明に始まり、島原半島の地学的特徴やジオパークの意味をわかりやすく解説して頂きました。

講演会の最後には、寺井先生が普賢岳の写真を撮り、それをつなぎ合わせて動画にした「平成噴火における溶岩ドーム成長記録」を見ることができました。島原高校や国見など別の角度から溶岩ドームの成長が記録されており、ドームの形成と崩壊のダイナミクスに圧倒されるばかりでした。わずかな期間で様変わりしてしまった島原に、改めて自然の力強さを見たような気がします。

理数科の生徒だけでなく、全校生徒に島原半島のことをよく知ってもらい、卒業後、周囲の人に対して「島原はこういう所だよ」と故郷を紹介できるようになってほしいものです。



寺井 邦久 先生



240名の皆さん「合格おめでとう」

平成25年度入学の高校入試合格発表が行われ、普通科200名理数科40名、合計240名が本校合格となりました。9時半の合格者番号掲示と同時に一斉に駆け寄り、自分の受験番号を見つけると、友人や保護者と大喜びする姿がたくさん見受けられました。

4月に島高68回生として皆さんをお迎えすることを楽しみにしています。



速報

平成24年度卒業生 大学等合格状況(中間報告)

進路指導主任 宮本 等

国公立大学後期試験も終わり、今年度の現役生の合格状況（推薦及びAO入試を含む）について、中間とりまとめができましたのでお知らせします。

今年度のセンター試験は昨年度に比べて、900点換算の推定値で理系で約35点、文系では約40点も平均点がダウンする、現役生にとっては非常に厳しいものでした。それに伴ってボーダーラインも大幅に下がりましたが、景気低迷に伴う「国公立大学志向」はますます強まっており、薬学や看護・医療系、教員養成系といった資格の取れる学部・学科への人気集中も相変わらずでした。その中でも特に看護系志望者は毎年増加傾向にあり、今年度もきわめて厳しい入試となりました。

これまでに判明している合格状況については以下のとおりです。なお、国公立大学については前期試験までの実合格者数、他はのべ合格者数です。国公立大学の中・後期試験結果を含めた最終合格者数については次号で報告します。

○大 学 国立大学79名 公立大学17名 私立大学136名
○短 大 公立短大1名 私立短大10名
○専門学校 看護専門学校23名 その他の専門学校13名
○就 職 公務員2名 自衛隊4名



主な合格校

〈国立大学・前期79名〉

茨城大1名 信州大1名 大阪教育大1名 鳥取大3名 岡山大3名 広島大3名
山口大2名 九州大5名 九州工業大2名 福岡教育大3名 佐賀大4名 長崎大14名
熊本大14名 大分大5名 宮崎大3名 鹿児島大11名 鹿屋体育大1名 琉球大3名

〈公立大学・前期17名〉

埼玉県立大1名 都留文科大1名 大阪市立大1名 鳥取環境大1名 北九州大2名
福岡県立大1名 長崎県立大4名 熊本県立大4名 宮崎公立大1名 名桜大1名

〈私立大学・主な合格校〉

青山学院大1名 中央大3名 東京女子大1名 明治大3名 立教大2名 早稲田大1名
南山大1名 立命館大3名 関西大1名 西南学院大4名 中村学園大5名 福岡大19名
活水女子大2名 長崎純心大2名 長崎国際大6名 九州看護福祉大7名 熊本保健科学大6名

〈公務員〉

兵庫県警察官1名 神奈川県警察官1名
自衛隊一般曹候補生2名 自衛官候補生2名



（3月12日現在）

全国選抜大会壮行式



目指せ！
上位入賞！

3月15日（金）、全国選抜大会壮行式が行われました。出場選手に、本校の代表としての誇りと県代表としての自覚を持たせ、大会に臨む決意を確固たるものにさせるとともに、他の生徒には、出場選手に力強い声援を送ることで、学校をあげて士気を高めることができました。選手達の健闘を祈りたいと思います！

剣道部男子 剣道部女子 レスリング部